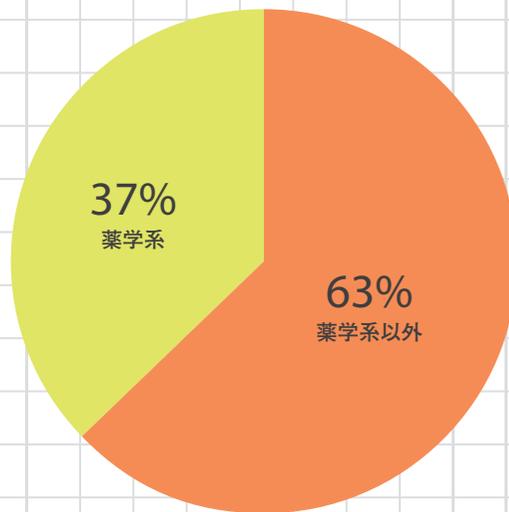


医薬系だけではなく、 理系の活躍フィールド。

世界的な医薬品マーケットの拡大、高齢化の進行などにより注目が高まっている医薬品業界。その医薬品業界において製薬企業のパートナーとして新薬の研究開発を支援しているのがCRO（医薬品開発業務受託機関）です。近年では医薬品だけでなく、医療機器、ヘルスケア用品や健康食品といった領域でもCROの活躍領域が広がっており、業界全体の市場規模や従業員数は拡大し続けています。



CROに新卒で入社した 63%が薬学系以外の理系出身者



生物、化学、農学、物理学、情報工学系の出身者も活躍中！

近年のCROの新卒内定者は薬学以外を専攻していた理系学生が増えています。最も採用人数の多いCRA（臨床開発職）では、2013年卒の内定者の57%が薬学以外の専攻学生で、続く2014年・2015年卒は63%と半数を超えています。全体（全職種）でも、直近の新卒入社・内定者の63%が薬学以外の専攻出身者となっています。

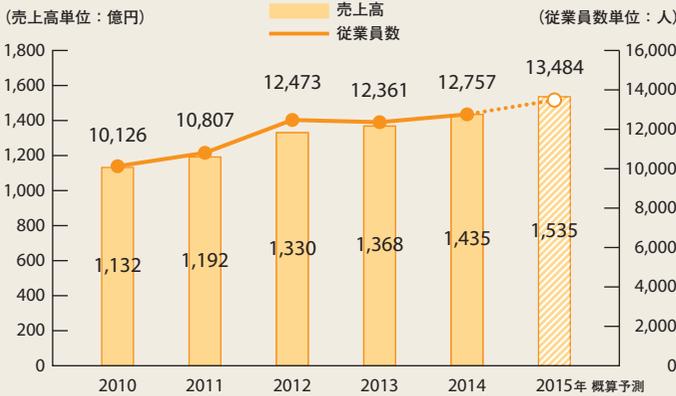
（円グラフ参照）薬学以外の理系学生の採用が増加している理由は、多種多様なプロジェクトに対応するために（例えば最近では新薬開発に限らず、新しい医療機器の開発なども増えている）人材の多様性を求めている点が挙げられます。CROは、薬そのものの知識だけでなく、様々な専攻の知識や経験が業務で活かせる業界なのです。

薬学：薬学系以外の採用人数
 薬学系以外63% (497名) / 薬学系37% (298名)
 合計有効回答数17社
 ※日本CRO協会正会員16社（うち新卒ゼロ回答2社）、賛助会員8社（うち新卒ゼロ回答5社）

拡大、成長を続けている CRO 業界

※2010/2011年は26社、2012年は25社、2013年は24社、2014/2015年は23社の集計値／予測値です。

日本CRO協会会員の総売上高と従業員数の推移(※)



臨床試験は膨大な時間と人手が必要となります。そのため、製薬企業が単独で臨床試験の体制を維持し続けようとするのは、効率的とはいえません。

CROは臨床試験を複数の製薬企業から受託することで、より効率的な新薬の研究開発をサポートしています。

いまやCROは国内において、外資系企業も含めた製薬企業にとって欠かせない存在となっており、市場規模や従業員数も堅実に成長を続けています。

臨床開発モニタリング

治験の実施に関して、治験依頼者と治験に関わる医師や実施医療機関関係者との情報交換を行い、臨床試験が「関連法規や実施計画書に従って実施・記録・報告されていること」「被験者さんの人権・安全・福祉が保護されていること」を保証する業務です。コミュニケーション力、スケジューリング力と、ゆくゆくは薬品に関する諸知識が必要になります。

データマネジメント

- データマネジメント（各種症例データのクリーニング）
臨床試験により集積された症例データの入力・精査・修正を行い、データベース化していく一連の流れをマネジメントします。コミュニケーション力とゆくゆくは薬品に関する諸知識が必要になります。活躍している専攻は薬学以外には、生物、化学、農学、物理、獣医学など、理系全般。
- データマネジメント（データマネジメントシステム開発）
データを入力するシステムの開発、運用。試験ごとに必要な入力項目やその形式など、カスタマイズする必要があり、ベースにはSASシステムが多く利用されます。情報工学等の知識も必要な業務です。

統計解析（生物統計）

生物統計学を用い、治験結果を解析。効果、安全性、副作用など、さまざまな観点から評価基準を数値化・分析し、治験薬の有効性や安全性を統計学的に検証する業務です。統計の知識や数学力が活かせる業務です。

臨床システム開発業務

臨床試験の現場である病院や製薬会社、モニタリング担当者をつなぐ臨床システムを開発・構築する業務です。薬学等に加え、情報工学の知識も必要な業務です。

ファーマコヴィジランス

「安全性情報管理」と訳され、新薬の臨床試験から市販後まで、その安全性（副作用）に関する情報を薬事法等の規制に基づいて収集し、医薬品の安全性向上に貢献します。

活躍している専攻

薬学以外に、生物、化学、農学、物理、獣医学など理系全般

活躍している専攻

情報工学系、数学、生物、化学、農学、物理、獣医学など

活躍している専攻

統計学、数学、物理、管理工学など

活躍している専攻

情報工学系、数学など

活躍している専攻

医学・薬学、生物、化学、農学、物理など理系全般

様々な職種で理系の能力が活かせる



もっと知りたい方は

「新薬、医療機器の開発にかかわる仕事研究セミナー(仮)」へ！

各職種の先輩社員も来場し、より仕事内容や理系との親和性について聞けます(2016年2月18日(金)実施予定)